

第7章 高校生向け講義用テキスト《講義型》「31-33 確定申告書」(還付申告) 講師用レジュメ

ここで、皆さんが大学生となり、コンビニでアルバイトをしたと仮定してみましょう。

1年間働いて754,800円稼いでいますが、源泉徴収税額として26,400円が差し引かれた残りを手取りとして受け取っています。この源泉徴収票を基に申告書を作成してみましょう。

- 1 はじめに住所と名前などを記入しましょう。
- 2 最初に収入金額等の「給与」欄に源泉徴収票の「支払金額」754,800円を記入します。
- 3 次に、所得金額の「給与」欄に下の表で計算した控除額を差し引いた「給与所得控除後の金額」204,800円を記入します。(※ 給与所得控除額は給与等の収入により変わります。)

(令和2年分以降)

給与等の収入金額 (給与所得の源泉徴収票の支払金額)	給与所得控除額
1,625,000円まで	550,000円
1,625,001円～1,800,000円まで	収入金額×40%-100,000円
1,800,001円～3,600,000円まで	収入金額×30%+80,000円
3,600,001円～6,600,000円まで	収入金額×20%+440,000円
6,600,001円～8,500,000円まで	収入金額×10%+1,100,000円
8,500,001円以上	1,950,000円(上限)

※ 収入金額が1,625,000円以下であるため、550,000円が給与所得控除額となることから、給与所得控除後の金額は204,800円となることを補足説明する。

- 4 次に、所得から差し引かれる金額の「勤労学生・障害者控除」欄に270,000円、「基礎控除」欄に480,000円、合計750,000円を記入します。
所得税法では、個人的事情を加味するために所得控除の制度を設けており、この他にも、社会保険料控除、扶養控除などさまざまな所得控除があります。
- 5 次に、税金の計算欄に移ります。
「課税される所得金額」及び「課税される所得金額に対する税金」0円を記入します。そして「源泉徴収税額」欄に源泉徴収票の「源泉徴収税額」26,400円を記入します。申告納税額は、△26,400円となるので、26,400円が還付される税金として戻ってきます。
- 6 還付される銀行名などを記入して完了です。